

UPSS – X2,X3,A3 シリーズ
メール設定手順書

2023 年 7 月 22 日

UPS ソリューションズ株式会社

●変更履歴

版数	日付	変更内容
1.0	2018/7/2	新規作成
1.1	2018/8/9	表紙追加及びメール送信についての注意事項記載
1.2	2023/2/9	NB7の手順を記載
1.3	2025/7/22	NB8の手順を記載

X2,A3 シリーズへのメール設定方法 (NB6)

X2,A3 シリーズにメール設定する際の手順をご案内致します。

1.1. 送信元の設定

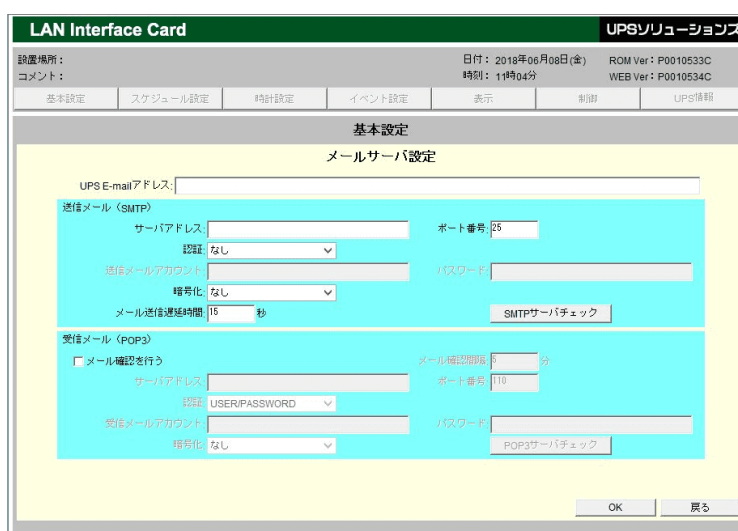
X2,A3 シリーズの管理画面(GUI)からの設定方法を記載します。

- ① 端末から、LAN I/F カードへ Login をして頂き、表示された画面上部メニューの、「基本設定」をクリックし、「メール設定」をクリックしてください。

※バージョン NB6 の場合、GUI にアクセスするためには「Web Tool Starter」をインストールする必要があります。詳しくは弊社 HP をご参照ください。



- ② 「メール設定」をクリックすると下記の「メールサーバ設定」画面が表示されます。



- ③ 「メール設定」画面内の下記項目を入力し「OK」ボタンをクリックして下さい。

メールサーバ設定

UPS E-mailアドレス:

送信メール (SMTP)

サーバアドレス: ポート番号:

認証:

送信メールアカウント: パスワード:

暗号化:

メール送信遅延時間: 秒

SMTPサーバチェック

・UPS E-mail アドレス

UPS からメールが送信される際に「送信元アドレス」としてメールに付加されます。

※@を含んだメールアドレスを入力して下さい。

※指定したメールサーバで、送信可能なアドレスであること

・送信メール (SMTP)

項目名	説明
サーバアドレス	SMTP サーバの IP アドレス、またはネットワーク名を設定します。
ポート番号	SMTP サーバのポート番号を設定します。 「暗号化」で選択した値によりポート番号が設定されます。 暗号化 なし: 25 SMTP over SSL/TLS: 465 STARTTLS: 587
認証	メール送信時の認証方法を設定します。 なし 認証は行いません。 POP before SMTP メール送信の前に POP 認証を行います。 アカウント・パスワードは、「受信メール (POP3)」の設定を使用します。 SMTP 認証 (自動選択) UPS が自動的に選択した認証機構名を使用して、SMTP 認証を行います。 (SMTP サーバがサポートしている認証機構名がわからない場合は「SMTP 認証 (自動選択)」を選択してください。) SMTP 認証 (PLAIN) SMTP 認証を行います。(認証機構名は PLAIN です) SMTP 認証 (LOGIN) SMTP 認証を行います。(認証機構名は LOGIN です) SMTP 認証 (CRAM-MD5) SMTP 認証を行います。(認証機構名は CRAM-MD5 です)
送信メールアカウント	SMTP サーバへの認証用のアカウント名です。(SMTP 認証を使用する場合に使用します)
パスワード	SMTP サーバへの認証用のパスワードです。(SMTP 認証を使用する場合に使用します)
暗号化	認証で「SMTP 認証」を選択した場合に選択します。 なし 暗号化は行いません。 SMTP over SSL/TLS* 暗号化を行います。 SMTP サーバの設定に合わせて選択してください。 STARTTLS 暗号化を行います。
メール送信遅延時間	SMTP サーバにメールを送信する時の遅延時間 (秒) を設定します。
SMTP サーバチェック	送信メール (SMTP) の設定が正しいか確認します。

受信メール (POP3)

☐ メール確認を行う

メール確認間隔: 分

サーバアドレス: ポート番号:

認証:

送信メールアカウント: パスワード:

暗号化:

POP3サーバチェック

・受信メール (POP3)

項目名	説明
メール確認を行う ^{*1}	POP3 サーバへメール受信確認を行うかを指定します。 チェックを外すと POP3 サーバへの受信メール確認を行いません。
メール確認間隔	設定された時間毎に、POP3 サーバに受信メールの確認を行います。
サーバアドレス	POP3 サーバの IP アドレス、またはネットワーク名を設定します。
ポート番号	POP3 サーバのポート番号を設定します。 「暗号化」で選択した値によりポート番号が設定されます。 暗号化 なし: 110 POP over SSL/TLS: 995 STLS: 110
認証	USER/PASSWORD POP3 認証時に USER と PASS コマンドを使用します。 APOP POP3 認証時に USER と PASS コマンドの代わりに APOP コマンドを使用するかどうかを指定します。POP3 サーバが APOP のみに制限されている場合に指定します。
受信メールアカウント	POP3 サーバへの認証用のアカウント名を入力します。
パスワード	POP3 サーバへの認証用のパスワードを入力します。
暗号化	「メール確認を行う」でチェックした場合、または送信メール設定で認証に「POP before SMTP」を選択した場合に選択します。 なし 暗号化は行いません。 POP over SSL/TLS ^{*2} 暗号化を行います。 STLS 暗号化を行います。

1.2. イベントの設定

1. メイン画面から「イベント設定」をクリックすると下記画面が表示されます。

E-mail にカーソルを合わせてチェックを入れると設定できるメールの項目が表示されます。

LAN Interface Card UPSソリューションズ

設置場所: 日付: 2019年06月08日(金) ROM Ver: P0010533C
コメント: 時刻: 11時04分 WEB Ver: P0010534C

基本設定 スケジュール設定 時計設定 イベント設定 表示 制御 UPS情報

イベント設定 イベントログ wsスクリプト **E-mail**

メール通知条件

No.	イベント	設定状態	変更
0101	停電 (交流入力電圧異常)	無効	可
0102	停電 (交流入力電圧異常) 1回	無効	可
0141	重故障発生	有効	可
0142	重故障1回	有効	可
0143	軽故障発生	有効	可
0144	軽故障1回	有効	可
0503	スケジュール停止予告開始	無効	可
0505	回復不能 (スケジュール停止)	無効	可
0506	回復不能 (リモート停止)	無効	可
0507	回復不能 (停電)	無効	可
0508	回復不能 (バッテリー電圧低下)	無効	可
0510	シャットダウン前処理実行	無効	可

標準設定
高度な設定 (UPS状態関連)
高度な設定 (UPS管理システム関連)

テスト送信
有効
無効
E-mail送信先

イベント通知間隔 OK 戻る

2. アラートメールのイベント内容は下記の内容にチェックをすることで変化します

標準設定
高度な設定 (UPS状態関連)
高度な設定 (UPS管理システム関連)

標準設定: 標準的なイベント

高度な設定 (UPS 状態関連): 故障の詳細など、UPS 動作の詳細に関するイベント

高度な設定 (UPS 管理システム関連): UPS の管理に関するイベント

3. アラートメールを選びイベントをクリックすると項目の色が変わり、右下の設定項目が利用できるようになります。

メール通知条件

No.	イベント	設定状態	変更
0101	停電 (交流入力電圧異常)	無効	可
0102	停電 (交流入力電圧異常) 1回	無効	可
0141	重故障発生	有効	可
0142	重故障1回	有効	可
0143	軽故障発生	有効	可
0144	軽故障1回	有効	可
0503	スケジュール停止予告開始	無効	可
0505	回復不能 (スケジュール停止)	無効	可
0506	回復不能 (リモート停止)	無効	可
0507	回復不能 (停電)	無効	可
0508	回復不能 (バッテリー電圧低下)	無効	可
0510	シャットダウン前処理実行	無効	可

標準設定
高度な設定 (UPS状態関連)
高度な設定 (UPS管理システム関連)

テスト送信
有効
無効
E-mail送信先

イベント通知間隔 OK 戻る

4. 設定項目の E-Mail 送信先をクリックすると下記画面になります。※項目内容は下記に記述します。

No.	有効	送信先アドレス
1	☒	xxxxx@ups-sol.com
2	☐	
3	☐	
4	☐	
5	☐	

① E-mail を送信する

チェックを入れることによって E-mail の送信を有効にします。

② 有効

チェックを入れることにより送信先アドレスを有効にします。

③ 送信先アドレス

メールの送信先は、全イベント設定で Max5 件となります。

④ 送信先を全てのイベントに反映する

設定した送信先アドレスと有効のチェックを全イベントへ反映します。

⑤ 右下の「OK」ボタンをクリックし、これまでの設定を反映します。

5. 送信先設定の終了後、メール通知条件画面に戻り「テスト送信」をクリックすることにより、テストメールの確認が行えます。

No.	イベント	設定状態	変更
0101	停電（交流入力電圧異常）	無効	可
0102	停電（交流入力電圧異常）復旧	無効	可
0141	重故障発生	有効	可
0142	重故障復旧	有効	可
0143	軽故障発生	有効	可
0144	軽故障復旧	有効	可
0503	スケジュール停止予告開始	無効	可
0505	回復不能（スケジュール停止）	無効	可
0506	回復不能（リモート停止）	無効	可
0507	回復不能（停電）	無効	可
0508	回復不能（バッテリー電圧低下）	無効	可
0510	シャットダウン前処理実行	無効	可

イベント通知設定

標準設定
高度な設定（UPS状態監視）
高度な設定（UPS管理ソフトウェア）

テスト送信
有効
無効
E-mail送信先

OK 戻る

※メール通知条件で、有効になっているイベントのみメール送信される設定となりますので

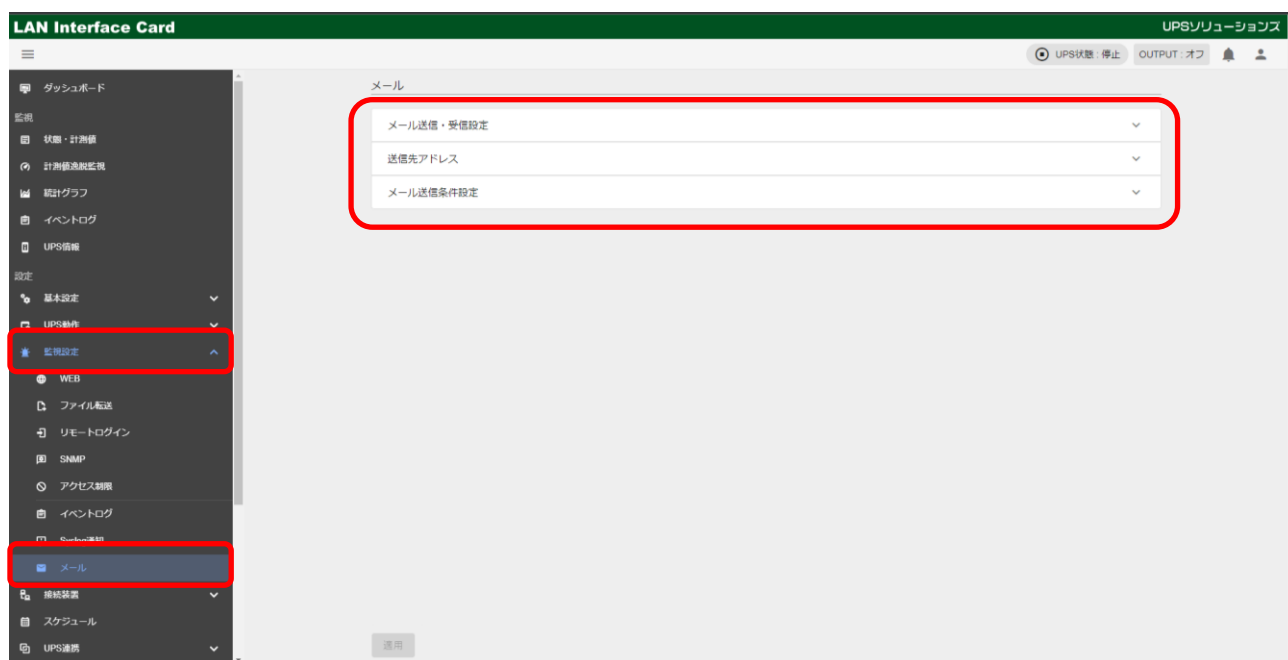
テストメール送信時には、設定状態が「有効」になっていることをご確認ください。

X2,X3,A3 シリーズへのメール設定方法 (NB7)

2.1 送信元メールアドレスの設定

X2,X3,A3 シリーズの管理画面(GUI)からの設定方法を記載します。

- ① Webブラウザから、LAN I/F カードへ Login をして頂き、「監視設定」をクリック、その中の「メール」をクリックし、「メール送信・受信設定」、「送信先アドレス」、「メール送信条件設定」をそれぞれクリックしてください。



② メール送信・受信設定にて、

「メールアドレス」に送信元メールアドレスを入力し、「SMTP サーバアドレス」、「ポート番号」に SMTP サーバのアドレスとポート番号をそれぞれ入力してください。

※ポート番号のデフォルトは「25」です。

「メールアドレス」に入力したアドレスは、
UPS からメールが送信される際に「送信元アドレス」としてメールに付加されます。

※@を含んだメールアドレスを入力して下さい。

※指定したメールサーバで、送信可能なアドレスであること

・送信メール (SMTP)

項目名	説明
サーバアドレス	SMTP サーバの IP アドレス、またはネットワーク名を設定します。
ポート番号	SMTP サーバのポート番号を設定します。 「暗号化」で選択した値によりポート番号が設定されます。 暗号化 なし：25 SMTP over SSL/TLS：465 STARTTLS：587
認証	メール送信時の認証方法を設定します。 なし 認証は行いません。 POP before SMTP メール送信の前に POP 認証を行います。 アカウント・パスワードは、「受信メール (POP3)」の設定を使用します。 SMTP 認証 (自動選択) UPS が自動的に選択した認証機構名を使用して、SMTP 認証を行います。 (SMTP サーバがサポートしている認証機構名がわからない場合は「SMTP 認証 (自動選択)」を選択してください。) SMTP 認証 (PLAIN) SMTP 認証を行います。(認証機構名は PLAIN です) SMTP 認証 (LOGIN) SMTP 認証を行います。(認証機構名は LOGIN です) SMTP 認証 (CRAM-MD5) SMTP 認証を行います。(認証機構名は CRAM-MD5 です)
送信メールアドレス	SMTP サーバへの認証用のアカウント名です。(SMTP 認証を使用する場合に使用します)
パスワード	SMTP サーバへの認証用のパスワードです。(SMTP 認証を使用する場合に使用します)
暗号化	認証で「SMTP 認証」を選択した場合に選択します。 なし 暗号化は行いません。 SMTP over SSL/TLS 暗号化を行います。SMTP サーバの設定に合わせて選択してください。 STARTTLS 暗号化を行います。
メール送信遅延時間	SMTP サーバにメールを送信する時の遅延時間 (秒) を設定します。
SMTP サーバチェック	送信メール (SMTP) の設定が正しいか確認します。

- ・ POP3 を使用する場合は赤枠に情報を入力してください。

The screenshot shows the 'メール' (Mail) configuration page in the LAN Interface Card web interface. The '受信メール (POP3)' section is highlighted with a red rectangle. The '送信メール (SMTP)' section is also visible. The interface includes a sidebar with navigation options like 'ダッシュボード', '監視', '設定', and 'メール'.

- ・ 送信メール (POP3)

項目名	説明		
メール確認を行う ^{※1}	POP3 サーバへメール受信確認を行うかを指定します。 チェックを外すと POP3 サーバへの受信メール確認を行いません。		
メール確認間隔	設定された時間毎に、POP3 サーバに受信メールの確認を行います。		
サーバアドレス	POP3 サーバの IP アドレス、またはネットワーク名を設定します。		
ポート番号	POP3 サーバのポート番号を設定します。 「暗号化」で選択した値によりポート番号が設定されます。 暗号化 なし：110 POP over SSL/TLS：995 STLS：110		
認証	USER/PASSWORD	POP3 認証時に USER と PASS コマンドを使用します。	POP3 サーバの設定に合わせて選択してください。
	APOP	POP3 認証時に USER と PASS コマンドの代わりに APOP コマンドを使用するかどうかを指定します。POP3 サーバが APOP のみに制限されている場合に指定します。	
受信メールアカウント	POP3 サーバへの認証用のアカウント名を入力します。		
パスワード	POP3 サーバへの認証用のパスワードを入力します。		
暗号化	「メール確認を行う」でチェックした場合、または送信メール設定で認証に「POP before SMTP」を選択した場合に選択します。		
	なし	暗号化は行いません。	POP3 サーバの設定に合わせて選択してください。
	POP over SSL/TLS ^{※2}	暗号化を行います。	
	STLS	暗号化を行います。	

- ③ 送信先アドレス欄にて、送信先のメールアドレスを入力してください。

LAN Interface Card

UPSソリューションズ

UPS状態: 停止 OUTPUT: オフ

メール

メール送信・受信設定

送信先アドレス

メール送信先アドレスを設定します。(最大5件まで登録できます。)

1: xxxxx@ups-sol.com

2: メールアドレス

3: メールアドレス

4: メールアドレス

5: メールアドレス

メール送信条件設定

適用

※送信先メールアドレスは最大 5 件登録できます。

- ④ メールを送信したいイベントにチェックを入れ、その後「適用」ボタンをクリックしてください。

LAN Interface Card

UPSソリューションズ

UPS状態: 停止 OUTPUT: オフ

メール

送信先アドレス

メール送信条件設定

標準設定

No.	イベント名称	メール送信先	1	2	3	4	5	テスト送信
101	停電 (交流入力電圧異常)	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
102	停電 (交流入力電圧異常) 復旧	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
141	重故障発生	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
142	重故障復旧	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
143	軽故障発生	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
144	軽故障復旧	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
503	スケジュール停止予告開始	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
505	回復不能 (スケジュール停止)	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
506	回復不能 (リモート停止)	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
507	回復不能 (停電)	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
508	回復不能 (バッテリー電圧低下)	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
510	シャットダウン開始確実行	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
511	シャットダウン実行	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
512	バッテリー交換予告時刻	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	回復不能 (シリアル通信異常)	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	回復不能 (重故障)	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐

適用

※複数の送信先を設定する場合、設定した番号にチェックを入れてください。

※全てのイベントに対してメール送信先のチェックボックスにチェックが入っていることを確認してください。

※「メール送信先」チェックボックスに全てチェックが入っていることを確認してください。

- ・アラートメールのイベント内容は下記の内容にチェックをすることで変化します

No.	イベント名称	送信	メール送信先	1	2	3	4	5	テスト送信
101	停電（交流入力電圧異常）	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
102	停電（交流入力電圧異常）復旧	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
141	重故障発生	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
142	重故障復旧	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
143	軽故障発生	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
144	軽故障復旧	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
503	スケジュール停止予告開始	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
505	回復不能（スケジュール停止）	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
506	回復不能（リモート停止）	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
507	回復不能（停電）	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
508	回復不能（バッテリー電圧低下）	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
510	シャットダウン前処理実行	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
511	シャットダウン実行	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
512	バッテリー交換予告時刻	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	回復不能（シリアル通信異常）	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	回復不能（重故障）	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐

すべて：すべてのイベント

標準設定：標準的なイベント

高度な設定（UPS 状態関連）：故障の詳細など、UPS 動作の詳細に関するイベント

高度な設定（UPS 管理システム関連）：UPS の管理に関するイベント

⑤ メールのテスト送信を行います。

メール送信条件設定欄から、テストしたいイベントの、「テスト送信」ボタンをクリックしてください。

No.	イベント名称	送信	メール送信先	1	2	3	4	5	テスト送信
101	停電（交流入力電圧異常）	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
102	停電（交流入力電圧異常）復旧	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
103	バイパス異常	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
104	バイパス異常回復	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
105	出力O F F	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
106	出力O N	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
107	同期	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
108	非同期	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
109	インバータ運転	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
110	非インバータ運転	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
111	バイパス運転	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
112	非バイパス運転	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
113	バッテリー運転	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
114	非バッテリー運転	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
115	スタンバイ中	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
116	非スタンバイ中	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	U P S 停止待ち	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	非U P S 停止待ち	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐

※メール通知条件で、有効になっているイベントのみメール送信される設定となりますので

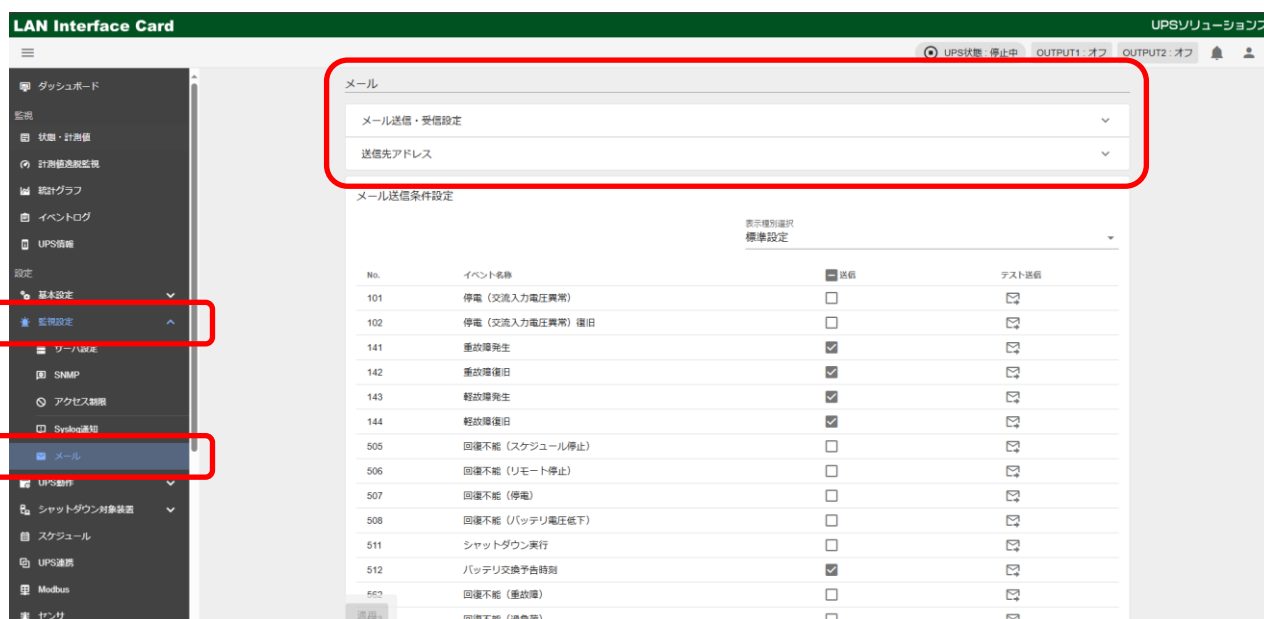
テストメール送信時には、設定状態が「有効」になっていることをご確認ください。

X2,X3,A3 シリーズへのメール設定方法 (NB8)

3.1 送信元メールアドレスの設定

X2,X3,A3 シリーズの管理画面(GUI)からの設定方法を記載します。

- ① Webブラウザから、LAN I/F カードへ Login をして頂き、「監視設定」をクリック、その中の「メール」をクリックし、「メール送信・受信設定」、「送信先アドレス」をそれぞれクリックしてください。



② メール送信・受信設定にて、

「UPS メールアドレス」に送信元メールアドレスを入力し、「SMTP サーバアドレス」、「ポート番号」に SMTP サーバのアドレスとポート番号をそれぞれ入力してください。

The screenshot shows the 'メール' (Email) configuration page. On the left is a sidebar with navigation options like 'ダッシュボード', '監視', '設定', etc. The main area is titled 'メール送信・受信設定'. Under '送信メール (SMTP)', the 'SMTPサーバアドレス' is set to '192.168.0.1' and the 'ポート番号' is set to '25'. Under '受信メール (POP3)', the 'POP3サーバアドレス' is empty, and the 'ポート番号' is set to '110'. There are buttons for 'SMTPサーバチェック' and 'POP3サーバチェック'.

※ポート番号のデフォルトは「25」です。

「UPS メールアドレス」に入力したアドレスは、UPS からメールが送信される際に「送信元アドレス」としてメールに付加されます。

※@を含んだメールアドレスを入力して下さい。

※指定したメールサーバで、送信可能なアドレスであること

・送信メール (SMTP)

送信メール (SMTP)

項目名	説明	
SMTP サーバアドレス	SMTP サーバの IP アドレス、またはネットワーク名を設定します。	
認証	メール送信時の認証方法を設定します。	
	なし	認証は行いません。
	SMTP 認証 (自動選択)	UPS が自動的に選択した認証機構名を使用して、SMTP 認証を行います。(SMTP サーバがサポートしている認証機構名がわからない場合は「SMTP 認証 (自動選択)」を選択してください。)
	SMTP 認証 (PLAIN)	SMTP 認証を行います。(認証機構名は PLAIN です)
	SMTP 認証 (LOGIN)	SMTP 認証を行います。(認証機構名は LOGIN です)
	SMTP 認証 (CRAM-MD5)	SMTP 認証を行います。(認証機構名は CRAM-MD5 です)
アカウント	SMTP サーバへの認証用のアカウント名です。(SMTP 認証を使用する場合に使用します)	
パスワード	SMTP サーバへの認証用のパスワードです。(SMTP 認証を使用する場合に使用します)	
暗号化	認証で「SMTP 認証」を選択した場合に選択します。	
	なし	暗号化は行いません。
	SMTP over SSL/TLS	暗号化を行います。
	STARTTLS	暗号化を行います。
ポート番号	SMTP サーバのポート番号を設定します。 「暗号化」で選択した値によりポート番号が設定されます。	
	暗号化 なし: 25	
	SMTP over SSL/TLS: 465	
	STARTTLS: 587	
メール送信遅延時間	SMTP サーバにメールを送信する時の遅延時間 (秒) を設定します。	
SMTP サーバチェック	送信メール (SMTP) の設定が正しいか確認します。	

- ・ POP3 を使用する場合は赤枠に情報を入力してください。

The screenshot shows the 'LAN Interface Card' web interface. The 'メール' (Mail) settings page is displayed. The '受信メール (POP3)' section is highlighted with a red rectangle. The '送信メール (SMTP)' section is also visible. The interface includes a sidebar with navigation options like 'ダッシュボード', '監視', '設定', and 'メール'.

- ・ 送信メール (POP3)

受信メール (POP3)

項目名	説明
メール確認を行う ^{*1}	POP3 サーバへメール受信確認を行うかを指定します。 チェックを外すと POP3 サーバへの受信メール確認を行いません。
POP サーバアドレス	POP3 サーバの IP アドレス、またはネットワーク名を設定します。
認証	メール受信時の認証方法を設定します。 POP3 認証 (自動選択) UPS が自動的に選択した認証機構名を使用して、POP3 認証を行います。(POP3 サーバがサポートしている認証機構名がわからない場合は「POP3 認証 (自動選択)」を選択してください。) POP3 認証 (PLAIN) POP3 認証を行います。(認証機構名は PLAIN です) POP3 認証 (LOGIN) POP3 認証を行います。(認証機構名は LOGIN です) POP3 認証 (APOP) POP3 認証を行います。(認証機構名は APOP です) POP3 認証 (CRAM-MD5) POP3 認証を行います。(認証機構名は CRAM-MD5 です)
アカウント	POP3 サーバへの認証用のアカウント名を入力します。
パスワード	POP3 サーバへの認証用のパスワードを入力します。
暗号化	「メール確認を行う」でチェックした場合、または送信メール設定で認証に「POP before SMTP」を選択した場合に選択します。 なし 暗号化は行いません。 POP over SSL/TLS ^{*2} 暗号化を行います。 STLS 暗号化を行います。 POP3 サーバの設定に合わせて選択してください。
ポート番号	POP3 サーバのポート番号を設定します。 「暗号化」で選択した値によりポート番号が設定されます。 暗号化 なし : 110 POP over SSL/TLS : 995 STLS : 110
メール確認間隔	設定された時間毎に、POP3 サーバに受信メールの確認を行います。
POP3 サーバチェック	受信メール (POP3) の設定が正しいか確認します。

④ 送信先アドレス欄にて、送信先のメールアドレスを入力してください。

LAN Interface Card

UPSソリューションズ

UPS状態: 停止中 OUTPUT1: オフ OUTPUT2: オフ

メール

メール送信・受信設定

送信先アドレス

メール送信先アドレスを設定します。(最大10件まで登録できます。)

1: xxxxx@ups-sol.com 6: メールアドレス

2: メールアドレス 7: メールアドレス

3: メールアドレス 8: メールアドレス

4: メールアドレス 9: メールアドレス

5: メールアドレス 10: メールアドレス

メール送信条件設定

表示欄別選択 標準設定

No.	イベント名称	送信	テスト送信
101	停電 (交流入力電圧異常)	☐	☐
102	停電 (交流入力電圧異常) 復旧	☐	☐

適用

※送信先メールアドレスは最大 10 件登録できます。

⑤ メールを送信したいイベントにチェックを入れ、その後「適用」ボタンをクリックしてください。

LAN Interface Card

UPSソリューションズ

UPS状態: 停止中 OUTPUT1: オフ OUTPUT2: オフ

メール

送信先アドレス

メール送信条件設定

表示欄別選択 標準設定

No.	イベント名称	送信	テスト送信
101	停電 (交流入力電圧異常)	☒	☐
102	停電 (交流入力電圧異常) 復旧	☐	☐
141	重故障発生	☒	☐
142	重故障復旧	☒	☐
143	軽故障発生	☒	☐
144	軽故障復旧	☒	☐
505	回復不能 (スケジュール停止)	☐	☐
506	回復不能 (リモート停止)	☐	☐
507	回復不能 (停電)	☐	☐
508	回復不能 (バッテリー電圧低下)	☐	☐
511	シャットダウン実行	☐	☐
512	バッテリー交換予告時刻	☒	☐
562	回復不能 (重故障)	☐	☐
563	回復不能 (過負荷)	☐	☐
652	回復不能 (UPS温度異常)	☐	☐
	回復不能 (負荷率異常)	☐	☐
	回復不能 (入力電圧異常)	☐	☐

適用

※全ての登録されているメールアドレスに対して有効化されたイベントメールが送信されます。

- ・アラートメールのイベント内容は下記の内容にチェックをすることで変化します

No.	イベント名称	選択	メール送信
101	停電（交流入力電圧異常）	☒	☐
102	停電（交流入力電圧異常）復旧	☐	☐
141	重故障発生	☒	☐
142	重故障復旧	☒	☐
143	軽故障発生	☒	☐
144	軽故障復旧	☒	☐
505	回復不能（スケジュール停止）	☐	☐
506	回復不能（リモート停止）	☐	☐
507	回復不能（停電）	☐	☐
508	回復不能（バッテリー電圧低下）	☐	☐
511	シャットダウン実行	☐	☐
512	バッテリー交換予告時刻	☒	☐
562	回復不能（重故障）	☐	☐
563	回復不能（過負荷）	☐	☐
652	回復不能（UPS温度異常）	☐	☐
653	回復不能（負荷率異常）	☐	☐
	適用		

すべて：すべてのイベント

標準設定：標準的なイベント

高度な設定（UPS 状態関連）：故障の詳細など、UPS 動作の詳細に関するイベント

高度な設定（UPS 管理システム関連）：UPS の管理に関するイベント

⑤ メールのテスト送信を行います。

メール送信条件設定欄から、テストしたいイベントの、「テスト送信」ボタンをクリックしてください。

No.	イベント名称	選択	テスト送信
101	停電（交流入力電圧異常）	☒	テスト送信
102	停電（交流入力電圧異常）復旧	☐	テスト送信
103	バイパス異常	☐	テスト送信
104	バイパス異常回復	☐	テスト送信
105	出力OFF	☐	テスト送信
106	出力ON	☐	テスト送信
107	同期	☐	テスト送信
108	非同期	☐	テスト送信
109	インバータ運転	☐	テスト送信
110	非インバータ運転	☐	テスト送信
111	バイパス運転	☐	テスト送信
112	非バイパス運転	☐	テスト送信
113	バッテリー運転	☐	テスト送信
114	非バッテリー運転	☐	テスト送信
115	スタンバイ中	☐	テスト送信
116	非スタンバイ中	☐	テスト送信
	適用		

※メール通知条件で、有効になっているイベントのみメール送信される設定となりますので

テストメール送信時には、設定状態が「有効」になっていることをご確認ください。